

のっぽの手

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル
TEL 024(528)1211 FAX 024(528)1218
E-mail center@f-npo.jp
URL <http://www.f-npo.jp/>

ヨラッセ コラッセ ふくしま情報ステーション

理事 丹治時彦

昨年7月、JR福島駅西口にオープンした複合施設コラッセふくしま1階に「ふくしま情報ステーション」が開設されました。

地域情報の発信拠点としてパンフレット類(行政発刊等)を備えることで、訪れた人が地域のことを知る窓口となり、「まちの駅」独自の特色として、「まちの駅」周辺地域だけでしか入手できない「特ダネ情報！」も提供しています。



ふくしま情報ステーション全景

「特ダネ」情報のいろいろ

花情報

桜・ポピー・菖蒲・チューリップ・ひまわり・コスモス・椿等々、一般的な上旬、中旬、下旬などの見ごろ情報だけでなく、その時期の気候等も取り入れ、一番の見ごろ情報を収集。また、観光目的等の花ではなく、家族・近所の方が丹精こめて育てた一輪の花情報も待ってます。

大切な花を1週間でも長く楽しむためのお手入れ情報…。

祭り・イベント情報

市町村サイドのイベントはもちろん、地域・部落単位の昔から伝わる珍しい祭り、また団体・個人等で開催する小さなイベント等の内容もお知らせください。参加募集もOK

買い物情報

お店の周年記念セール、毎週定期的に行う特売ももちろんOK。具体的に何がどうお買い得かもお知らせください。

人情情報

こんな珍しい人がいる、やってくる、等の情報や、バンド結成に伴いメンバーを探している等もOK。

体験情報

家では、近所では、こんな楽しい体験ができます。

コミュニティ情報

家で飼っているゴールデンリトリバーの子犬が生まれま

した。生後3ヶ月のオスが2匹、メスが3匹、欲しい方は…。

健康情報

この夏を夏バテ知らずで過ごす、とっておきのスイカの皮調理法…。

運転中のあなたへ、疲労回復、居眠り防止にこんな簡単なストレッチ…。

風邪の季節、簡単自己防衛法…。

菓子情報

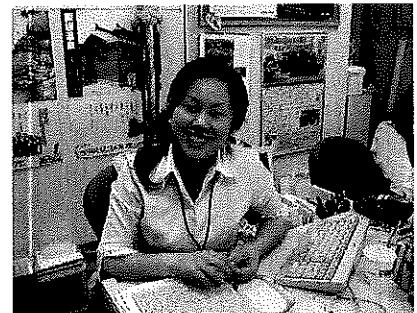
季節の果物でこんなお菓子ができました。こんなデザートを作ってみては…。

フルーツ情報

サクランボ・もも・梨・ぶどう・りんご

情報発信基地として

地域限定のリアルタイムな情報として、四季情報・サークル情報・催し物情報・買い物情報 etc とジャンルごとにまとめて発信し、「人と人をつなぐ拠点」という観点から、来訪者だけでなく地域の人々の暮らしに結びついた情報発信もしていきたいと考えております。



スタッフの大内さんが笑顔で対応

福島は四季折々の草花・果実の宝庫。しかし、毎年気象状況により「見どころ」「食べごろ」「行きどころ」は例年微妙なところ。そんな情報を中心に、地域で開催される小さなイベント等の募集・告知、また耳よりの情報を収集し、地域限定のリアルタイムな情報の発信を行っています。また、県内のNPO法人・ボランティア団体の活動内容を紹介するパンフレットも取りそろえており、広く市民の方々に情報を提供しています。



ポスター・チラシ・パンフレットがぎっしり

福島の情報の受信と発信をテーマに、NPOと市民活動の情報交換の場に出来ればと考えていますので、宜しくお願いいたします。

NPO研究会報告

理事長 星野 珉二

第26回

4月24日(土)

朝日新聞福島支局会議室

話題提供：NPO法人NPOもがみ

代表 沼野 慈 さん

テーマ：「住民主体のまちづくりと
NPOの役割」

この3月、福島大学大学院地域政策科学研究科で上記のテーマで修士論文を書き上げ、修士の学位を取得された沼野慈さんに、調査・研究の内容を中心にお話をいただきました。沼野さんは実際に山形県新庄市で中間支援組織NPO「NPOもがみ」を立ち上げ、運営に奮闘されておられますが、同時に県レベルでの中間支援組織「山形創造NPO支援ネットワーク」理事としても活躍中です。そうした実務経験を踏まえ、行政との協働関係や中間支援組織のあり方など、さまざま有益なお話をお聞きすることができました。特に印象深い点は、まちづくりにあたって、中間支援NPOが地域のさまざまな専門NPOと連携し、東ね、コーディネイトしていく力量を持たなければならない、という結論部分

です。これがまちづくりに情熱を傾ける沼野さんの持論で、沼野さんの熱い情熱がじわりと伝わってきました。



第27回

5月28日(金)

ウィズ・もとまち大会議室

話題提供：NPO法人新潟NPO協会

常務理事・事務局長 金子 洋二 さん

テーマ：「新潟県における
市民活動サポートセンターの現状」

今回の研究会では、実際に新潟県においてNPOサポートセンターの設立にあたられた金子さんから、①支援センター設営までの経緯とその間のエピソード、②支援センターが立ち上がった後の運営面でのご苦労とその間に生じた問題点、③運営に要する経費と人的な手当ての方法、等を中心に具体的なお話を伺いました。こうした事例の紹介をいただきながら、加えて市民活動サポートセンターの今後の課題や抱負についての考えも伺うことができました。「新潟県NPOサポートセンター」では、〈育てる〉、〈つなぐ〉そして〈考える〉の3つが基本コンセプトとして構想されています。〈育てる〉は、社会の主役である市民力を育てるため、NPOの立ち上げや運営を支援すること。〈つなぐ〉は、NPOと企業・行政・NPO同士の協働を促進するパイプ役になること。〈考える〉は、社会のニーズに応えるよりよいサービスを提供するため、調査研究を行うこと。また、金子さんは市民による市民のための資金インフラとしてNPOファンドの必要性についても力説されました。金子さんの説得力のある口調は、多くの参加者の共感を呼びました。福島市においても市民活動センターの構想が日程に上っていることから、大変参考になる研究会となりました。

新理事自己紹介



理事 大堀 和也

2003年度の総会において新理事として承認をいただきました大堀和也です。現在、猪苗代町役場商工観光課に勤務しています。よろしく願います。

さて、私と「ふくしまNPOネットワークセンター」の出会い、平成14年の春先だったかと思っています。福島グリーンパレスで開催された会議でたままなのか、運命なのか恩師である当センター理事で現福島大学副学長の山川充夫先生にお会いし、会議終了後コーヒーを飲みながら近況報告などをしていた時に入会を勧められました。

ちょうどその頃NPOについて興味があり、NPOを知る上では、所属してみるのもひとつの手かなと思いついて入会したところでした。

当センターが2000年8月に福島県より21番目のNPO法人として認証を受けてから、4年が経過しようとしている現在県内には、209のNPO法人(2004.6.25現在)が認証を受けてそれぞれの公益活動を行っています。今後ともNPO法人格を取得する団体が増加することが予想されるとともに、NPO間の競争が激しくなることも予想されます。

このような状況の中、大切になってくるのが組織のマネジメントではないかと考えています。たえず中間支援NPOとしてのミッションは何なのかを自らに問いながら進んでいかなければならないと思います。

今後は、会員の皆様とたえず、「福島県内で活動する民間非営利活動団体・市民団体の支援・活動基盤整備を進め、地域や分野を越えたネットワークの拠点となり、行政や地域と連携した新たな協働関係を築き、もって市民社会の発展に寄与する」という当センターの目的を共有し、目的達成のため誠意努力して参りたいと思いますので、よろしく願います。

空きビルにシティ誕生

理事 早川 哲郎

ニュー福ビル(旧長崎屋)4階には子どもたちの売り声が響き、活気に満ちた仮想シティが繰り広げられていた……



ふくしまスチューデント・シティ(ふくしまSC)は、小学校5・6年生を対象に社会体験学習を行う舞台です。国内では品川区に次いで2例目の開催で、実行委員会と

ジュニア・アチーブメントの共催で行われています。ジュニア・アチーブメントはアメリカで発足した経済教育支援NPOで、今回の学習プログラム全般を提供しています。

ふくしまSCには福島市役所や協賛企業・団体が、本モノの店舗と見間違ふようなブースを出展し、児童はそこを舞台に仕事をし、電子マネー(カードを使った仮想のお金)を使ってショッピングをします。児童は社会のしくみやお金、仕事の内容について事前学習を行い、SCでの実体験によって社会や経済についての理解を深めていきます。今年度は18回、26校が参加して開催されます。

当センターでは星野理事長が実行委員会委員として加わっており、NPO法人うつくしま保全センターと共同でブースを出展しています。SCでのふくしまNPOネットワークセンターは、まちの美化や



環境保全を目的としており、シティの美化活動を行うほか、福島市からの受託事業として公共施設の維持・管理、事業所の環境保全への取り組み実態調査を行います。NPOの出展は初めてのことで、学習プログラム策定にも当センターが関わり、実際の活動に近い形で児童たちが体験できるように考えました。

とは言え、銀行やスーパーなど普段接している会社の中であって「NPOって何やるの?」というのが児童たちの正直な反応で、それに対して先生方も明確に答えることができないのが実際のようなのです。保護者ボランティアからも「NPOは良くわからない」と言われ、これは実社会でのNPOの存在をそのまま反映しているようです。

NPOをより理解してもらうために、先生方には開催前にNPOについてお話する機会を設けていただき、また、先日は学校の依頼で児童にNPOの説明をしてきました。この説明を聞いた児童たちの中ではNPOの人气が高まり、NPOブースへの就職(?)希望者が急増したそうです。

実際、その児童たちはNPOをしっかりと理解して、「NPOはボランティアの受け皿になります」と先生に説明していました。話をしたこちらとしては、児童に理解してもらえたか心配でしたが、彼らはその柔軟な頭でちゃんと捉えてくれたようです。

ふくしまSCの教育的な意義もさることながら、NPO活動を実践しているものとしては、ふくしまSCに参加する1,500人の児童に加えて、先生方やボランティアの方々が、これまで以上にNPOの理解を深めてもらえると考え、ふくしまSCに参加する意義はとて大きいのではないのでしょうか。



NPO運営Q&A

Q.

認定NPO法人の要件に出てくるパブリックサポートテストとは、どのようなことなのでしょう。

A.

税制上の特例を受けることができる認定NPO法人になるためには、いくつかの要件を満たさなければなりません。その要件の中でも高いハードルが、パブリックサポートテストと言われる、寄付金等の収入比率に関するものです。

パブリックサポートテストとは「広く一般から支援を受けているか」ということです。つまり多くの者から一定以上の寄付金や助成金を受けていることが要件になり、概要は次のとおりです。

寄付金、助成金、(寄付金の性質を有する)会費	≥	1
総収入金額(寄付金、助成金、会費、事業収入等)		5

注

1. 「5分の1」の割合は、平成15年4月1日から平成18年3

月31日までの間に認定申請書を提出する場合に適用される。

2. 分母・分子には、国等又は我が国が加盟している国際機関からの補助金等及び受託事業収入は含めない。
3. 分母・分子には、1者から受け入れた寄附金で、年間の合計額が1,000円未満のものは含めない。
4. 分子には、1者から受け入れた寄附金の額の合計額のうち、受け入れた寄附金の額の総額の5%を超える部分の金額は含めない。

なお、この要件は、直前2事業年度においてそれぞれ満たす必要があります。

この他にも、認定NPO法人の要件には、活動の対象に関する要件や運営組織及び経理に関する要件などがあり、要件が厳しいためか、6月24日現在全国で24法人が認定を受けるに留まっています。

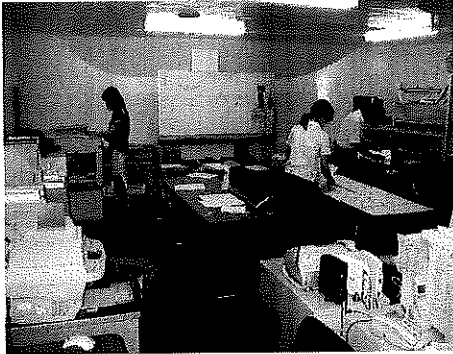
認定NPO法人制度の詳しい内容や認定を受ける方法については、最寄の税務署にお問い合わせください。

事務局近況

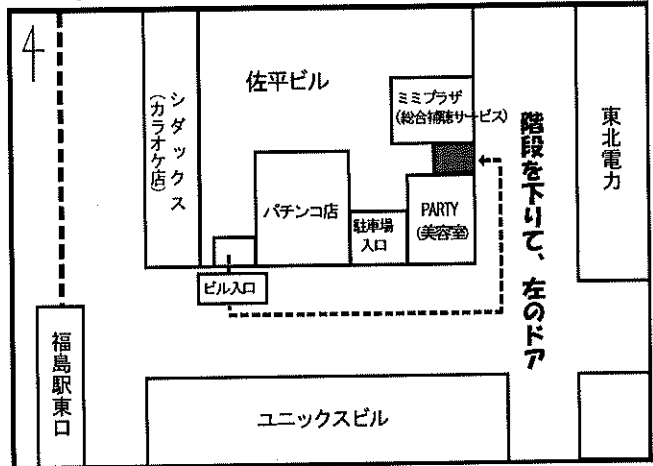
去る2月6日より、当センターは佐平ビル8階から地下1階へ移転しました。電話・FAX番号は従来通りです。佐平ビル東側(東北電力側)の階段を下りて、左側の重厚な扉がネットワークセンターです。(左記地図をご参照ください)

事務局の引っ越し後、整理しきれていなかった書類を少しずつ整理しています。県内NPO法人の各種パンフレットや、過去の新聞記事といった、さまざまな情報をできるだけみやすくまとめています。

陽の当たらない



い地下室は、世間が猛暑であってもひんやりと涼しく、とても快適です。お近くまでお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



事務局員自己紹介

金田 雪 (かねだ ゆき)
月～金曜 10:00～19:00 勤務

ご縁があって、4月末よりネットワークセンターでお世話になっています。よく「冬生まれですか？」と聞かれますが、生まれは秋です。古風な女性に成長することを夢見た両親の願いから命名されたようですが、夢は夢で終わってしまいました(涙)。

学生時代は平和教育の勉強をしていました。全ての人が、平和で楽しく暮らせる世界をつくるのが私の夢です(注・新興宗教ではありません)。NPOでお仕事をさせていただくことは、世界平和につながると信じ、一生懸命頑張ります!・・・とは言うものの、NPOに関してはまだまだ修業中。いろいろと教えていただければ幸いです。

趣味は、オーケストラ、プロ野球・F1観戦。特技は中国語です。私が中国語の勉強をした中国の東北地方は、冬になると気温がマイナス35度まで下がります。その極寒の地で鍛えたたくましい生命力(ゴキブリ並み)と環境適応力を活かして、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

岩井 くみ子 (いわい くみこ)
月～金曜 10:00～16:00 勤務

はじめて。2児の母ですが、今や子育ては、すっかり卒業し自分自身を磨くことに専念中です。

ひよんな縁からこちらで5月からお手伝いさせて頂いております。

NPOって何?の状態飛び込んできましたが、今読書に目覚め?本と格闘中ではありますが、まだまだ理解不足です。自分自身がどれだけついていけるのかも不安ですが、少しずつ皆様の背中を追いかけながらついていけたらと思います。

今の私のブームは、ゴルフです。1年程前からこの年齢で始めたので、これもなかなか追いつけず、身に付かずにおります。ボーリングのスコアなら立派なのにね。と言われるスコアですが、自分なりに楽しんでます。(他の方には迷惑かもなのですが・・・)

子供たちが巣立ち私は、今生きがい探し中なのですがいつでも輝いている女性になることをモットーに頑張ってみようかなと・・・今後ともお力添えお願いいたします。

事務所にぜひお立ち寄りくださいね。お待ちしております。

編集後記

久しぶりの「のっぽの手」発行となりました。ヒト・カネ・モノ不足のNPO、編集スタッフが欲しいところです。県内のNPO法人は益々増加、サポートへのニーズも高まっています。そのニーズにどのように応えるのか、当センターの存在価値が問われてきているように感じます。(早川)

何度かSCのお手伝いに行かせていただきました。毎回、小学生のパワーには圧倒させられてしまいます。私にもあんな時代があったのですね・・・いやいや、私もまだ負けませぬ。若さを武器に頑張ります!(ゆき)

***** 賛助会員 (2004年5月31日現在) *****

- 六陽印刷・東邦銀行
 - タカラ印刷・福島信用金庫
 - ラジオ福島・NTT福島支店
 - NPO法人子ども未来クラブ
 - NPO法人うつくしま保全センター
 - 福島トヨタ・佐藤工業
- ♪ご協力ありがとうございます♪
